

第10回 健康寿命をのばそう！アワード（母子保健分野）
厚生労働大臣最優秀賞受賞

双子等妊娠期サポート事業 について

岐阜県健康福祉部 子ども・女性局
子育て支援課





1300年以上の歴史を誇る岐阜長良川鶉飼



こどものお守り「さるぼぼ」



高山祭 ユネスコ無形文化遺産登録された屋台行事



美濃焼（黄瀬戸）

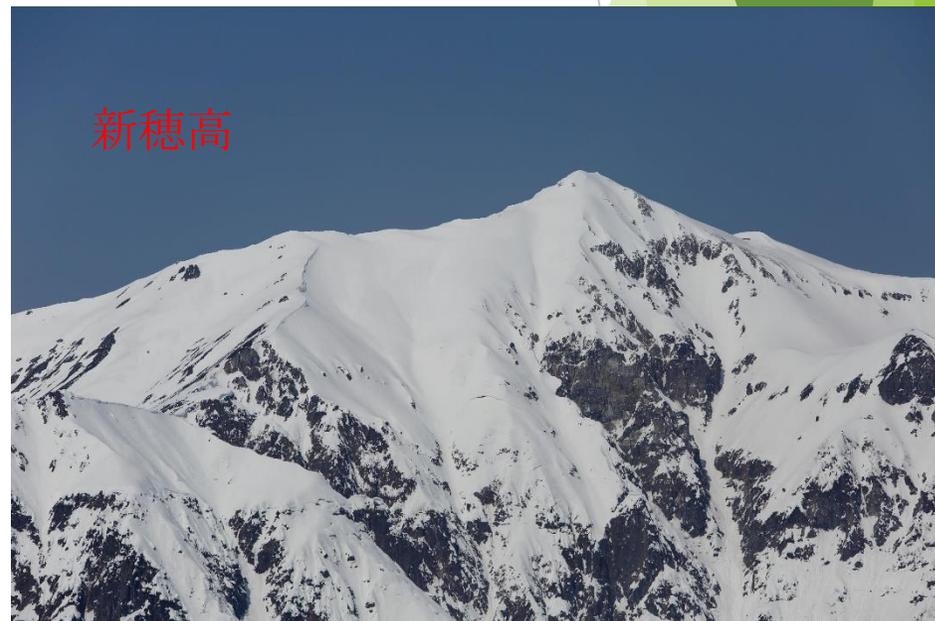
樹齡1500年 薄墨桜



天下布武 織田信長の城 岐阜城（稲葉山城）



秋の恵那峡



新穂高

鮎菓子



飛騨牛



鮎料理

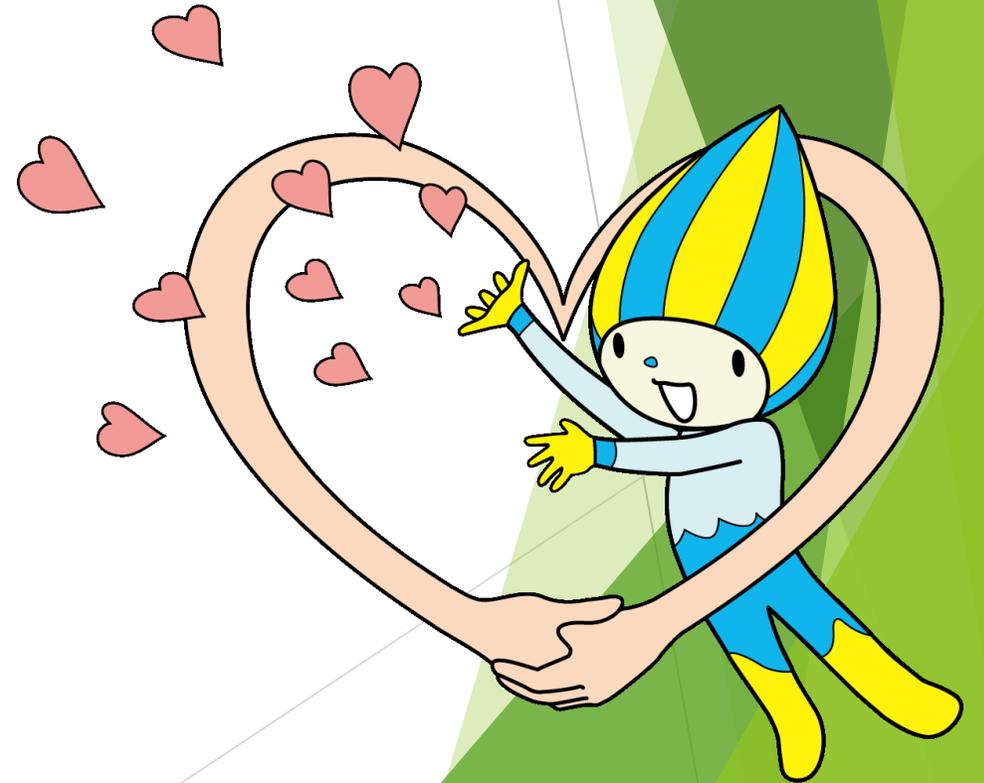


栗きんとん

第10回健康寿命をのばそう！アワード（母子保健分野） 厚生労働大臣最優秀賞を受賞しました！

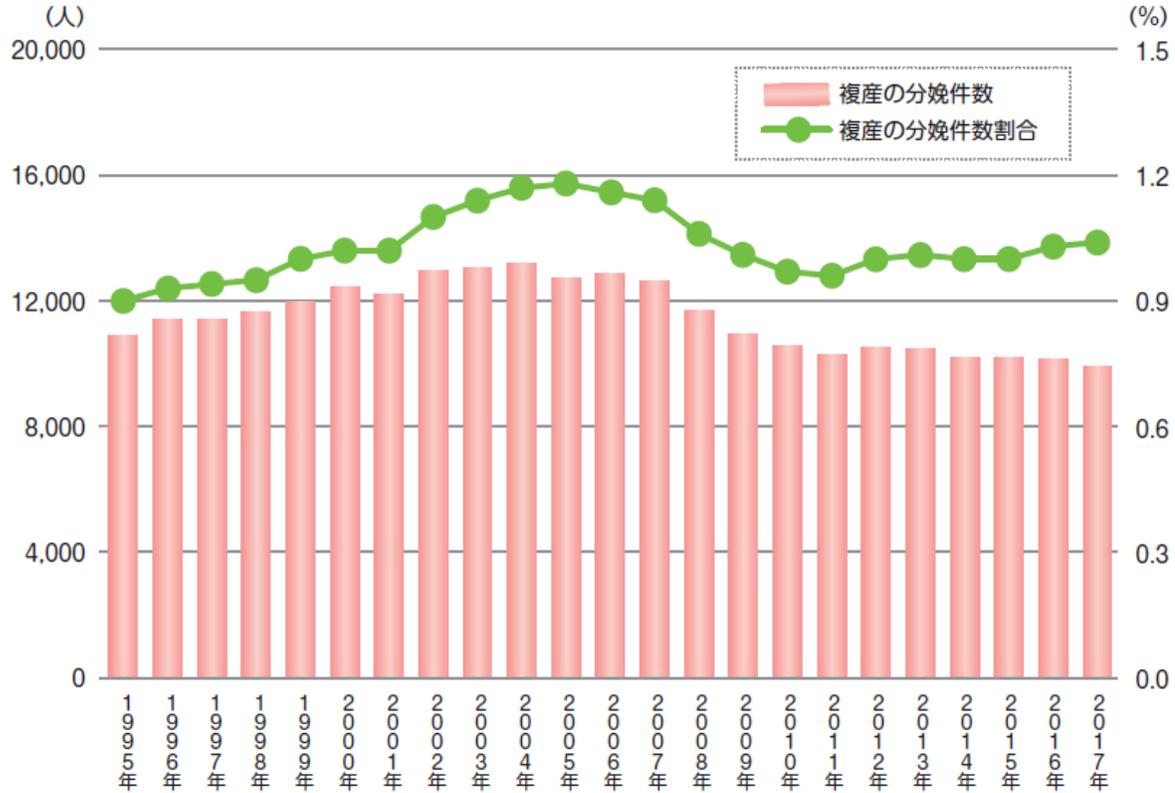
<受賞理由>

- ・多胎の支援を「市町村」単位でなく、
「県」をあげて広域に捉えて実施したこと
- ・当事者に寄り添う事業内容となっており、
妊娠時から関係づくりをしていること

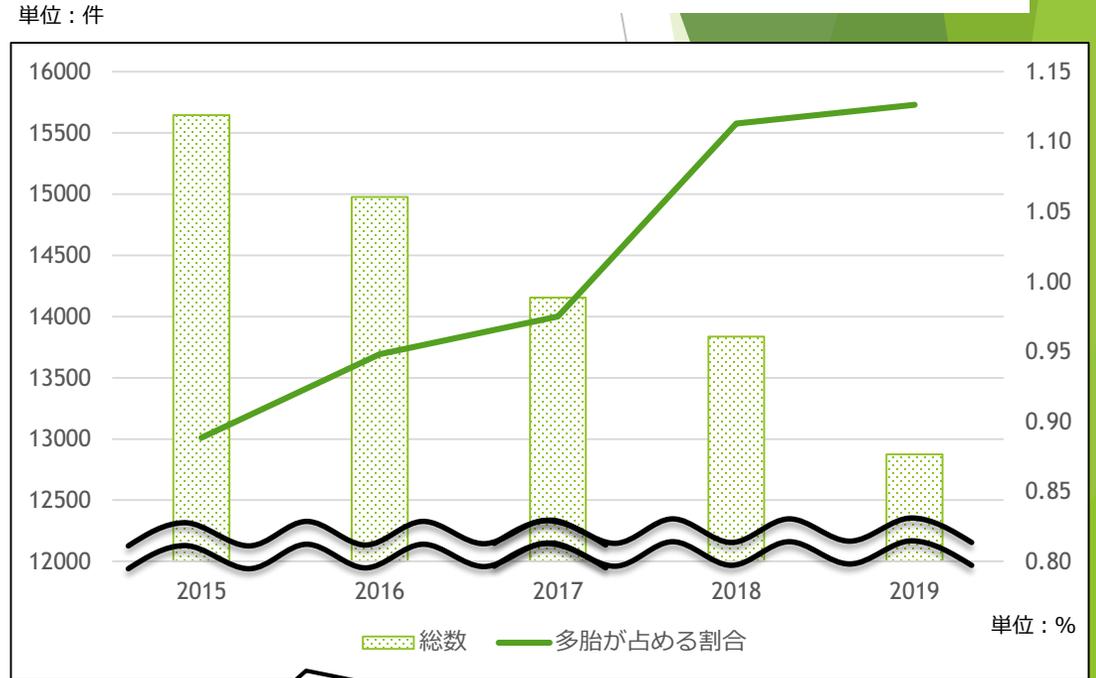


多胎児家庭の割合

多胎（複産）の分娩件数・割合の推移：人口動態統計



《岐阜県の実績と多胎児が占める割合》



出典：平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
 小さく産まれた赤ちゃんへの保健指導のあり方に関する調査研究事業
 「多胎児支援のポイント」 ふたご・みつご等の赤ちゃんの地域支援
 (小さく産まれた赤ちゃんへの保健指導のあり方に関する調査 研究会
 (みずほ情報総研株式会社 (平成31年3月))

岐阜県でも全国と同様、分娩件数に対して、多胎児が占める割合は年々増加し、過去5年平均は144件（1.0%）となっています。

100組に1組は多胎

多胎妊婦・子育て家庭の声

- ▶ 多胎妊娠→想定外！妊娠生活はどうなるの？
- ▶ 妊娠途中で絶対安静・入院 → 誰にも会えない、話し相手がいない
- ▶ 大量出血、帝王切開 → 出産後もフラフラ 回復が遅い
- ▶ 出産後 → 次々と子どもが泣き、眠れない。一日の睡眠時間16分
- ▶ 「いっぺんに子育てが終わっていいね」「年子のほうが大変」→誰もわかってくれない
- ▶ 入院中にできたママ友から「ランチいかない？」→4か月でランチ行けるの？無理無理無理！

先が見通せない不安

仲間がいない孤独感

県が多胎支援に取り組んだ理由

- ▶ 100組に1組が多胎ということだが、岐阜県には42もの多くの市町村があり、1市町村あたりの多胎児の件数が非常に少ない。人口規模が最大の岐阜市でも30組程度であり、5～10年に1組しか多胎児の出生のない市町村もある。
- ▶ 市町村単位で多胎児支援ができる市町村と現実的でない市町村がある中で、県として事業を展開することで、県内どこの市町村においても多胎妊婦が孤立することなく支援が受けられる体制を構築することができる。
- ▶ 近隣市町村の多胎妊産婦同士が繋がることことができる。

多胎支援事業の歴史

■ 事業概要

圏域ごとに行政と医療機関と多胎ネット（委託先）がチームとなって、母子保健の入り口である妊娠期をより重点的に支援することで、妊娠・出産・育児に不安を抱える多胎妊婦を早期に発見し、地域に根付いた切れ目ない多胎児支援と安心・安全なお産を目指すとともに虐待防止を図る。

年度	委託内容
H27～R1	多胎児プレママパパ教室
R2～R3	多胎児プレママパパ教室・多胎妊婦訪問等支援事業



双子等妊娠期サポート事業 (R2～)

- ▶ 多胎プレママパパ教室
- ▶ 多胎妊婦訪問等支援事業

ふたごちゃん・みつごちゃんの
妊娠おめでとうございます!

岐阜県双子等 妊娠期サポート事業

岐阜県では、母子手帳を受け取った多胎妊婦のみなさんに、
同じ多胎の育児経験者（マイサポーター）が寄り添い、
安心して妊娠期を過ごし、出産～育児期を迎えられるようサポートします！
具体的には、以下のような支援が受けられます。

- 1 母子健康手帳交付** 個人情報提供カードに記入し保健師さんに渡して下さい。
- 2 マイサポーターから連絡** 訪問日時・場所など相談して下さい。
- 3 情報提供訪問** マイサポーターから妊娠中・出産後の支援について説明を聞きます。

体調良好なら
多胎プレママパパ教室へ参加
～ご家族もぜひ一緒に～
「ふたごちゃん・みつごちゃん
にこにこ子育て教室」に
参加して先輩ママパパたちと交流。

入院したら
入院中の病院に
マイサポーターが
訪問します。

自宅安静などの時は
マイサポーターが
ご自宅へ
おうかがいします。

1～2ヶ月に1回、電話かメールで、体調について、
困っていることはないかなど、おうかがいします。

 **お問い合せはこちらまで /**
NPO 法人ぎふ多胎ネット
URL <https://gifutatainet.com>
E-mail gifu.tatainet@gmail.com

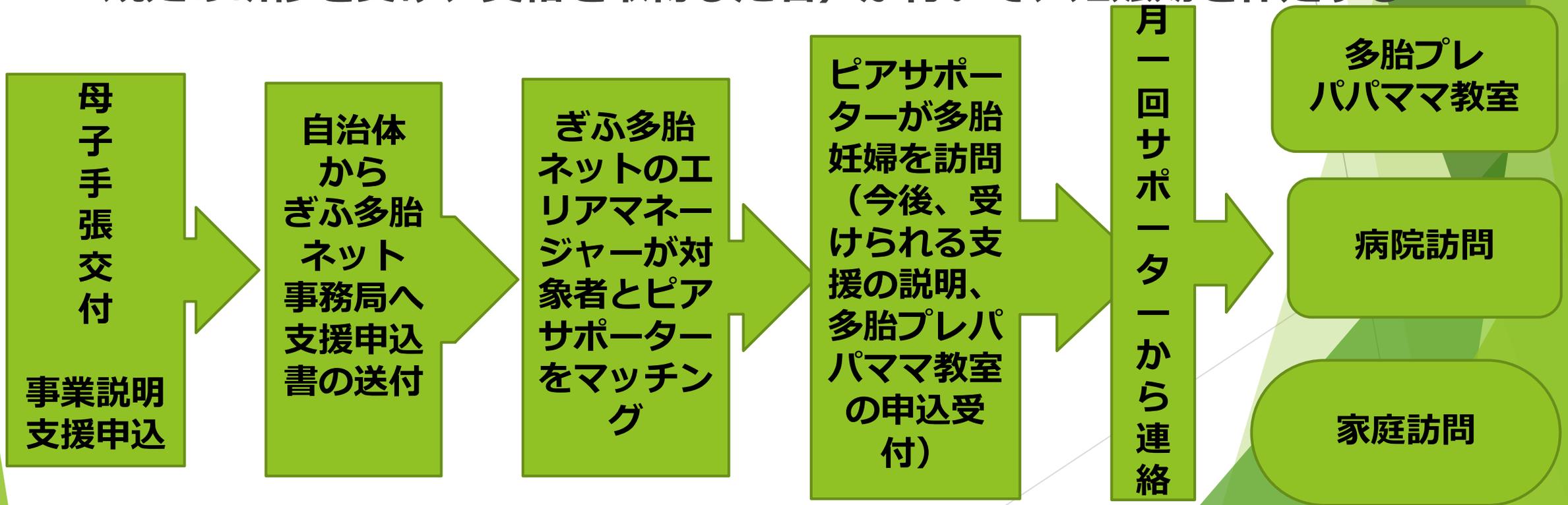
 **ぎふ多胎ネットは、
持続可能な開発目標（SDGs）を
支援しています。**



【妊娠期の支援】

双子等妊娠期サポート事業 =マイサポーター制度

- ▶ 妊娠初期から出産まで、全ての多胎妊婦にピアサポーター（多胎育児経験者で規定の研修を受け、資格を取得した者）が付いて、妊娠期を伴走する

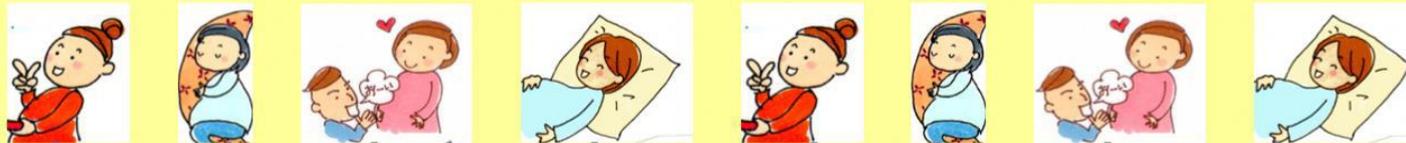




岐阜県「双子等妊娠期サポート事業」=マイサポーター制度の仕組み

転用元：ぎふ多胎ネット

多胎妊婦



《産後》
多胎育児教室や
健診サポートなど
に参加

マイサ
ポーター
が妊娠期
を伴走

ピア
サポーター

ピア
サポーター

ピア
サポーター

ピア
サポーター

ピア
サポーター

【役割】

- ・多胎妊婦への訪問支援
- ・報告書の作成

エリア
マネージャー

エリア
マネージャー

エリア
マネージャー

【役割】

- ・担当圏域の市町村担当者との連絡
- ・報告書の管理
- ・多胎妊婦とピアサポーターのマッチング
- ・ピアサポーターへのアドバイス・フォロー
- ・事例のとりまとめと報告
- ・エリアマネージャー会議への出席

オーガナイザー

【役割】

- ・全体とりまとめ
- ・事業の企画と人員の配置
- ・進捗状況のチェック
- ・会議・研修の企画 ・人材の把握

事務局

- ・会計
- ・書類の作成、保管

多胎妊娠の診
断直後から、
多胎妊婦を誰
1人取り残さ
ない仕組み

地域医療、地
域行政と情報
共有しながら
連携した支援

多胎プレママパパ教室

- ▶ 年10回開催
- ▶ 先輩パパママとの交流
- ▶ 専門職による多胎妊娠や出産に関する知識の普及



多胎妊婦訪問等支援事業

- ▶ **管理入院や自宅安静等となり、自ら積極的に動くことができない妊婦（プレママパパ教室への参加が難しい妊婦）に対し、医療機関や自宅への訪問事業を行っている。**

- ▶ **令和2年度実績**

病院訪問：0件 ※コロナウイルスの影響により、病院での面会は禁止

自宅訪問：15件（延）

★上記訪問ができなかった分、電話やメール等の手段を活用して支援しており、

委託先（ぎふ多胎ネット）への情報提供に同意をされた方については、

概ね全数に対し支援介入できている。

ただし流産等、妊娠継続が困難であった事例は、保健センターで対応

- ▶ **委託先（ぎふ多胎ネット）への情報提供は、60%程度*の妊婦が同意されている。**

*市町村窓口で説明し同意を取得し、市町村からぎふ多胎ネットへ情報提供した数（割合）

※ただし、妊婦から直接多胎ネットへ既にアクセスしている妊婦や、

途中から同意される妊婦もいる。

取組の効果 (県内市町村・保健所から)

- ▶ 妊娠期からの状況の把握、見守り、早期介入について、ぎふ多胎ネットとの連携体制がスムーズになり、必要な支援に繋げやすくなった。
- ▶ 特に、ぎふ多胎ネットからの情報提供により、より早い段階から、利用できるサービス等の情報提供ができており、産後の継続的な支援がしやすくなった。
- ▶ サポーターの支援により、より具体的で実体験を踏まえた支援がなされ、多胎家庭の不安や困りごとの軽減に繋がっている。
- ▶ 行政が関わることで、すべての多胎対象者に情報提供ができるため、地域全体に支援が行き渡ると考えられる。

取組の効果 (多胎プレパママ教室の参加者アンケートより)

- ▶ 妊娠経過や単胎との違いが分かり、産後の生活について考えることができた。
- ▶ 不安や心配が尽きないが、ひとりじゃないと思えた。気持ちが楽になったし、子どもたちに会えるのが楽しみになった。

《オンライン開催について》

- ▶ 実際に会いたかったが、一方で移動時間がかからず、自宅から参加できて良かった。体調が悪くなっても、ベッドの上からでも参加できて良かった。

◎県だからこそ、市町村単位では難しい「少数派」な方への支援を

◎妊娠期からキャッチ、支援を開始することで、虐待や育児不安に対して予防的な支援を

＜行政＞
市町村保健センター、子育て世代包括支援センター、保健所

妊婦

携

妊娠期

子育て期

連

支援

＜ピアサポーター＞
ぎふ多胎ネット

イラスト：ぎふ多胎ネットより転用



ご清聴
ありがとうございました！

